

医薬品の品質を保ち、確実に届ける 安定供給を支えるトラック輸送



※イメージ

私たちの暮らしに欠かせないさまざまな品物を運んでいるトラック。薬もその一つです。医薬品メーカーの工場で、医薬品専門の運送会社・ユタカによる製品の積み込み現場取材。医薬品輸送ならではの気遣いを聞きました。



衛生面に配慮して、工場内で使うパレット（製品を乗せる台）から、屋外用のパレットに医薬品を積み替え



フィルムで巻いて固定してから、フォークリフトを使ってトラックに積み込み

段ボール箱であっても傷が付くとNG 専任のドライバーが丁寧に取り扱い

30台のトラックと専任ドライバーで、近距離から長距離まで、医薬品を専門に輸送しているユタカ（寝屋川市）。医薬品の輸送は、品質を管理するためのGDP（医薬品の適正流通基準）というルールに基づいて、一般的な荷物よりも細かく気を付けなければならないことがあるそうです。

例えば、通常は、外側の段ボール箱の角が少しへこんでいても中身に傷がなければ特に問題ありません。しかし、医薬品の場合は、段ボール箱にへこみがあれば中の製品も正常ではない可能性があるためとみなされてしまうのです。段ボール箱も商品だと思って、傷が付かないよう細心の注意を払います」と、同社の中邨一さん。

また、輸送中の揺れが激しいと、中の製品のラベルが擦れて、使用期限やロット番号などの必要な情報が読めなくなることも。そのため、車体のエアサスペンションやたくさんのクッション材などで、ダメージをなるべく減らす工夫がされています。

スピードよりも 正確さを優先

一般的な荷物であれば、荷積みなどの作業の効率や納品時間を守ることも重要なポイントですが、医薬品の場合、そこは二の次。「もしも雪の影響で到着が遅れそうなら、予定到着時刻を荷主に連絡するとともに、ドライバーには、無理をせず、スピードよりも傷つけ



ユタカ代表取締役
中邨一さん

ず確実に届けることを心がけるよう伝えていきます」と中邨さん。輸送を依頼している京都薬品工業の戸矢和利さんも、「工場から出ていくトラックを見ても慎重な運転ですし、物流中の製品の事故がほとんどないので、安心してお任せしています」と話します。

運ぶ医薬品に応じて 適切な温度をキープ

医薬品輸送の大きなカギとなるのが、定温で運ぶこと。「10℃長田野工場では医療機関用と市販用のさまざまな固形製剤（錠剤など）と坐剤を作っていて、その量は錠

剤なら年間約20億錠。運ぶときは、錠剤であれば20℃前後の常温に、人の体温で溶けやすいように作られた坐剤の場合は15℃以下の低温に、それぞれ温度を保つ必要がある」と戸矢さん。

しかし、何もなければ、トラックの荷台は夏は30℃以上、冬は0℃以下になることもしばしば。写真のトラックは10トンクラスの冷蔵・冷凍車ですが、常に冷やしているというわけではなく、エアコンのように冷気と暖気を出すことで適切な温度を維持しています。さらに、「故障のリスクに備えて、別系統のエンジンで動く2つの冷却装置を備えたトラックも導入しています」（中邨さん）。

荷台の温度センサーに誤差が生じていないか、どの部分も適切な温度になっているか、といった検査も定期的を実施されます。

作る人と運ぶ人との パートナーシップで

「さまざまな車体の工夫も、細やかな運行管理も、すべて医薬品の安定供給のため。これからもできることを追求していきたい」と話す中邨さんに、「メーカーの使命は、安全で高品質な医薬品を必要患者さんに届けること。そのためユタカさんと協力して取り組んでいきます」と戸矢さん。必要なものが必要なときに手に入るの、作る人だけでなく運ぶ人もあつてこそ。今日もトラックの活躍が続きます。



京都薬品工業
執行役員・長田野工場工場長
戸矢和利さん

ユタカのトラックには 工夫がいっぱい

- 故障に備えて冷却装置は2つ**
荷台の前と後ろにある2つの冷蔵・冷凍機を使って内部を適切な温度に。動力となるエンジンは別々なので、もし1つが故障しても、もう1台でコントロールが可能です。
- 断熱材で外気をブロック**
外気温の影響を受けにくいよう、壁には断熱材を使用。
- 温度管理しやすい床**
床に凹凸があることで、冷気がより循環しやすくなります。
- エアサスペンションで揺れを抑える**
タイヤと車体の間には、板ばねよりも衝撃を吸収する力が大きい「エアサスペンション」（空気のばね）を設置。揺れを抑えて、荷物への影響を減らします。
- 多種類のクッション材**
パレットとパレットの間などに、すき間なくクッション材を入れて荷物を固定。どんなサイズにも対応できるように、硬さや厚みの異なるクッション材がたくさん用意されています。
- 空気を循環させるサーキュレーター**
前後の冷蔵・冷凍機からの冷気がぶつかり合う位置にサーキュレーターを設置。空気を循環させて、荷台全体を均一な温度に。

大阪府トラック協会
Tel 06-6965-4000
https://www.truck.or.jp/



大阪府トラック協会の
マスコットキャラクター
「トラ坊」



ある日のスケジュール

5:50	宝塚営業所で点呼、トラックの点検。京都薬品工業長田野工場へ出発
7:00	福知山市内の工場に到着。医薬品を積み込み
9:00	神戸市内の物流倉庫へ出発
10:30	物流倉庫に到着、荷卸し
11:15	尼崎市内の薬品関係の物流センターへ移動。途中で休憩・昼食
13:30	物流センターに到着。宝塚営業所行きの貨物を積み込み
15:00	宝塚営業所到着。点検、点呼を行い、業務終了

